



概要

システム監視ソフトウェアは、Linux 上のアプリケーションから、弊社産業用コンピュータを監視する為のソフトウェアです。Linux 上のアプリケーションからライブラリ関数をコールして使用します。本ソフトウェアは日英語バイリンガルソフトウェアです。日本語版、英語版のドキュメント類も付属しています。

特長

- 弊社製品に搭載されている次の機能を使うことができます。
 - ウォッチドッグタイマ(WDT)
 - デジタル入出力／外部コネクタ出力
 - システム停止時・起動時の出力状態を設定可能(遷移出力機能)
 - ブザー／エラー LED(SuperCD の場合、警報ランプ)／アラーム LED／汎用 LED
- 弊社製品に搭載されているセンサから、次のデータを取得することができます。
 - CPU コア温度／CPU 基板温度／メモリ周辺温度
 - 電源電圧
 - FAN の回転数
 - 瞬低対策用電源装置の状態
 - XYZ3 軸の加速度センサの値(有償オプション)
- 次の状況が発生した場合に、外部アプリケーションへ割り込みイベントを通知することができます。

割り込みイベントは、複数のアプリケーションから検知できます。

 - WDT が周期時間中にクリアされなかったとき
 - CPU コア温度／CPU 基板温度／メモリ周辺温度が閾値を超えたとき
 - 電源電圧が閾値を超えたとき
 - FAN の回転数が低下したとき
 - デジタル入力に入力があったとき(入力に対する動作を設定可能)
 - ひもスイッチが引かれたとき
 - XYZ3 軸の加速度センサの値が閾値を超えたとき(有償オプション)

※ 閾値は、上限値・下限値を予め設定しておくことができます。
一瞬だけ閾値の超過が収まって、値が特定の範囲内であれば、依然として異常状態にあるとみなし続けることもできます。
値の範囲(ヒステリシス)を設定できます。
- 次の状況が発生した場合に、CPU リセットをかけるように設定することができます。

この機能は、OS がハングアップした場合でも動作します。

 - WDT が周期時間中にクリアされなかったとき
- 各種異常の条件を満たしたときに、次の方法で外部に通知することができます(RAS 通知)。
 - デジタル入出力／外部コネクタ出力
 - ブザー鳴動／LED 点灯
- 瞬低対策用電源装置が停電を検知したとき、一定時間後に OS をシャットダウンするように設定できます。

また、シャットダウン開始から一定時間後にバッテリーを強制 OFF するように設定できます。
- すぐに使えるユーティリティが付属しています。ログの保存も行えます。

各種サンプルプログラムが付属しています。

対応 OS

Interface Linux System 9 64bit
Interface Linux System 8 64bit
Interface Linux System 7 64bit

対応言語	
gcc	

注意事項	
—	